

# CZECH

チェコ共和国



「厳しいグループだ。しかし、我々はチームを信頼している。」 - Jozef Chovanec -

予選ではスコットランドが最大の難敵と呼べるほど楽な組み合わせであったが、10試合を引き分けなしの全勝で勝ち抜けた。1998W杯に出場できなかった鬱憤を晴らす快進撃は、前回大会を越える優勝をファンに期待させた。

事な初戦のオランダ戦を1-0で敗戦。続くフランス戦でもDFガブリエルのミスから先制され、一旦は追いつくものの1-2と惜敗。最終戦を待たずして予選敗退が決定した。

ポボルスキー、ネドヴェドら要所にタレントを擁したが、ベルギーを出場停止で欠いたのが大きく彼の復帰したデンマーク戦での勝利は"もしも"をいいたくなる悔しい結末となった。

本大会では、1998年W杯優勝のフランスをはじめ、デンマーク、オランダと同組となった。"死のグループ"と形容されるにふさわしい顔ぶれの中で、大

## SQUAD

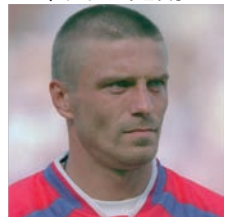
1 Pavel Srniček  
バヴェル・スルニェク



1969/3/10 GK  
187cm・88kg  
3試合・0ゴール  
シェフィールド・W(ENG)  
GK スクール経営

愛称は" Pav"。抜群の反射神経を生かしてチェコ代表の正GKの座を射止めると、スーパーセーブを連発、鉄壁を築いた。本大会でも全試合出場。

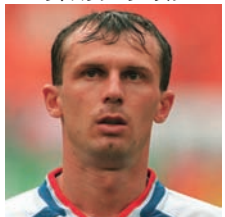
2 Tomáš Řepka  
トマーシュ・ジェフカ



1974/1/2 DF  
183cm・84kg  
3試合・0ゴール  
フィオンチーナ(ITA)  
スバル・ブラハ

切れやすくハードすぎる一面はあるも平面に強くセリエAでも有数のDFといわれていた。本大会でも全試合に出場。当時、レプカの呼称が一般的。

3 Radoslav Látal  
ラドスラフ・ラータル



1970/1/6 MF  
179cm・72kg  
1試合・0ゴール  
シャルケ04(GER)  
F・ミーステック監督

シャルケ04がUEFA杯を制した時のレギュラー。ペテランの域にさしかかりCBでもプレー。パフォーマンスは落ち、初戦のみの出場となった。

4 Pavel Nedvěd  
バヴェル・ネドヴェド



1972/8/30 MF  
177cm・70kg  
3試合・0ゴール  
ラツィオ(ITA)  
ユヴェントス(ITA)

クラブでは運動量を武器にランチを務めることが多いが、代表では左サイドでプレー。ポボルスキーとの両翼は相手を混乱に陥れた。

1 Later Career  
その後のキャリア

ユヴェントスへ移籍後、トップ下へ定着し新境地を開拓、2003年にはバロンドールを獲得した。

2006/07シーズンには八百長でセリエB降格になったユヴェントスに残留し、チームを1年でAへ昇格させた。さすがに体力には陰りも見えるが、経験でカバーしている。

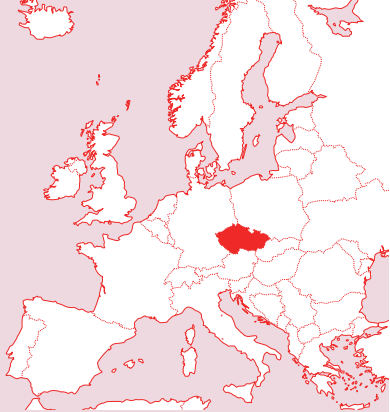
5 Milan Fukal  
ミラン・フカル



1975/5/16 DF  
188cm・87kg  
1(1)試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
ヤブロネツ

本業とは違う3バックの右でプレー。控えながら、守備に加え果敢なオーバーラップも見せ、大会後にハンブルクへ移籍が決定した。

## MAP



## BASIC INFORMATION

面積 7.9万km<sup>2</sup>  
人口 1027万(2000年)  
首都 プラハ  
言語 チェコ語  
協会設立 1994年  
公式サイト www.fotbal.cz  
W杯出場 0回  
EURO出場 2回  
EURO年数成績 1996—準優勝  
2000—グループリーグ敗退

## MANAGER



Jozef Chovanec  
ヨゼフ・ホヴァネツ  
チェコ  
1960年3月7日  
1990W杯代表選手で、1998年よりチームを率いた。調和重視で、選手との関係は良好も、そのために選手の派閥争いに発展してしまう。

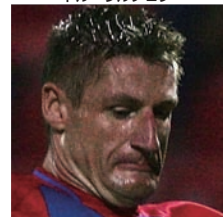
## FORMATION



## GAME RESULT

Group D			
日時	対戦相手	勝敗	試合結果
00.06.11	VS オランダ	●	0-1
00.06.16	VS フランス	●	1-2
00.06.21	VS デンマーク	○	2-0
〔得点者〕	シュミツェル(64', 67')		
	グループリーグ敗退		

6 Petr Vlček  
ペトル・ウルチェク



1973/10/18 MF  
190cm・78kg  
0試合・0ゴール  
スラヴィア・ブラハ  
バドケテック(GER-4期)

MF登録だが、対面の強さを生かしDF面で主にアピール。予選での出場0も、大会前にベルギーへの移籍が決まるなど波にのっていた。

11 Tomáš Rosický  
トマーシュ・ロシツキー



1980/10/4 MF  
178cm・65kg  
2試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
アーセナル(ENG)

19歳ながらU-21EUROの活躍を受けメンバー入り。左攻撃的MFで起用され、スピードと類まれな技術を披露。観衆を驚かすには十分だった。

15 Marek Jankulovski  
マレク・ヤンクロフスキ



1977/5/9 MF  
184cm・74kg  
0試合・0ゴール  
パルク・オストラーヴァ  
ミラン(ITA)

ロシツキーと共にU-21代表から昇格。高程度のクロスとFKを武器に2試合に出場、大会後のシドニー五輪でも中心としてチームを牽引。

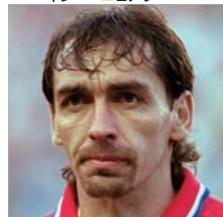
20 Patrik Berger  
パトリック・ベルガー



1973/11/10 MF  
185cm・79kg  
1試合・0ゴール  
リヴァプール(ENG)  
アストン・ヴィラ(ENG)

左足のパワー、技術、スピードを兼ね備え予選で5ゴールをあげるも出場停止でオランダ、フランス戦を欠場。敗因の1つになってしまった。

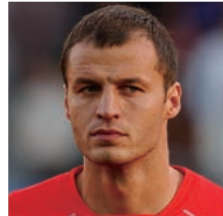
7 Jiří Němec  
イジー・ニェメツ



1966/5/15 MF  
174cm・74kg  
3試合・1ゴール  
シャルケ04(GER)  
デュクラ・ブラハ(副監督)

チームキャプテン。守備的な役割を黙々とこなす汗かき役。ユーティリティー性高く、たまに見せるオーバーラップも効果的。

12 Vratislav Lokvenec  
ヴラティスラフ・ロクヴェンツ



1973/9/27 FW  
196cm・95kg  
(3) 試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
ザルツブルク(AUT)

2m近い長身を武器にエース・ストライカーとして期待されていたが、1999年4月以降ゴールが生まれずコレに地位を奪われた。

16 Ladislav Maier  
ラディスラフ・マイアー



1966/1/4 GK  
186cm・89kg  
0試合・0ゴール  
ラビド・ウィーン(AUT)  
S・リベツ・フロント

チーム最年長、精神的な役回りを監督から期待されていたメンバー入り。所属のラビド・ウィーンでは、結果を残してあり実力も高かった。

1 Later Career  
その後のキャリア

2002年W杯予選プレーオフでネドヴェドと対立、以降「代表にはネドヴェドがいる限り招集に応じない」と代表を去った。

クラブ・キャリアでも怪我がちでリヴァプールを去るとクラブを転々。06/07シーズンには下部リーグへの短期ローンを経験している。

8 Karel Poborský  
カレル・ポボルスキー



1972/3/30 MF  
174cm・73kg  
3試合・0ゴール  
ベンフィカ(POR)  
チェコ代表候補リザーブ

運動量、スピード、技術どれをとっても優秀で、キャリアもベンフィカでの最盛期。本大会では全試合に出場し、フランス相手に1得点。

13 Radek Bejbl  
ラデク・ベイブル



1972/8/29 MF  
185cm・79kg  
2(1) 試合・0ゴール  
A・マドラー(ESP)  
スロヴァン・リベレツ

EURO96からチームを支えてきた中盤の屋台骨。強さと技術を兼ね備え、攻守に力を発揮。2000年は息子の誕生した年でもある。

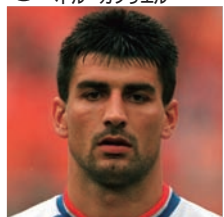
17 Vladimír Šmicer  
ヴラディミール・シュミツェル



1973/5/24 FW  
180cm・71kg  
3試合・2ゴール  
リヴァプール(ENG)  
スラヴィア・ブラハ

クラブでは主に中盤を務めていたが代表ではFW。タウー型FWの周りを衛星のように駆け回った。デンマーク戦ではわずか3分間で2得点。

21 Petr Gabriel  
ペトル・ガブリエル



1973/5/17 DF  
191cm・88kg  
2試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
ビーレフェルト(ENG)

ビッグクラブからの熱視線を浴びていたDF。高さに加え平面的に強い万能なDFとのことだったが、本大会でミスで連発。評価を著しく下げた。

9 Pavel Kuka  
パヴェル・クカ



1968/7/1 FW  
180cm・78kg  
0試合・0ゴール  
シュトゥットガルト(GER)  
代理人

チェコスロヴァキア時代から代表の常連でかつてのエースストライカーもクラブでの不調(シーズン1得点)からコンディションが上がりず。

14 Pavel Horváth  
パヴェル・ホルヴァート



1975/4/22 MF  
178cm・78kg  
0試合・0ゴール  
スラヴィア・ブラハ  
スバル・ブラハ

豊富な運動量、ミドルシュートに加えゲームも作れる。99/00シーズンは10得点。代表では控えながらNextネドヴェドとして期待された。

18 Jiří Novotný  
イジー・ノヴォトニー



1970/4/7 DF  
187cm・81kg  
0試合・0ゴール  
スラヴィア・ブラハ  
ルジヴォムロク(SVK)

頭脳派のDFでポジションング、正確なフィード、読みで勝負する。本大会では控えも、2002年W杯予選では全試合に出場した。

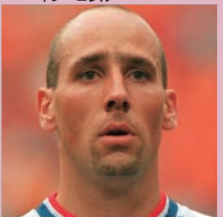
22 Jaromír Blažek  
ヤロミール・ブラジェク



1972/12/29 GK  
189cm・98kg  
0試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
ニルンベルク(GER)

マイアー、スルニェクの影に隠れ、3月のオーストリア戦で28歳にしてA代表デビュー。滑り込みで本大会メンバー入りを果たした。

10 Jan Koller  
ヤン・コルル



1973/3/30 FW  
202cm・100kg  
3試合・0ゴール  
スバル・ブラハ  
ニルンベルク(GER)

国内では結果を残さずベルギー・アンデルレヒトで躍進。2000年のベルギー・ゴールデンブーツの勢いそのままに代表エースの座を手中に。

1 Later Career  
その後のキャリア

2001年にドルトムントへ移籍するとヴェアンス、ロシツキーらとドルトムントの顔として活躍。代表でもライバルが伸び悩む中、得点率は約0.5と高い安定感を示した。

しかし、2005/06シーズン序盤に韌帯を断裂して以降、怪我が癖になりつつあり、成績をやや落ちつつある。

19 Karel Rada  
カレル・ラダ



1971/3/2 DF  
187cm・81kg  
3試合・0ゴール  
スラヴィア・ブラハ  
ホヘミツン・ブラハ

本大会では3バックの中央に入り敵に強いばかりかDFラインのリーダーを務め、セットプレー時には果敢にターゲットとなった。

はみだし EURO 現地では、ネドヴェドはネドヴィエトウという感じの発音でないと通じないぞ。日本でもWOWOWがスウィルコシュなど現地表記に挑戦しているが根付いていない。